

東京放射線

2017年9月号

Vol.64 No.753



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

卷頭言 人工知能は人間を支配する?

白木 尚

第16回サマーセミナー

第71回日暮里塾ワンコインセミナー

会告

第72回日暮里塾ワンコインセミナー

第17回合同学術講演会

平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」

お知らせ 平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正

連載 ↗急性疾患アラカルト ↗第一部急性腹症「消化管穿孔」 野中孝志

研修会等申込書

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 人工知能は人間を支配する?	4
会告1 第16回サマーセミナー	5
会告2 平成29年度業務拡大に伴う統一講習会	6
会告3 第71回日暮里塾ワンコインセミナー	8
会告4 第72回日暮里塾ワンコインセミナー	9
会告5 第17回公益社団法人東京都診療放射線技師会、 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	10
会告6 平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	11
会告7 第16回城北支部研修会	12
会告8 第61回きめこまかな生涯教育	13
お知らせ1 平成29年度電離箱式サーベイメータ確認校正	14
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	15
連載 学術が行く～急性疾患アラカルト～ 第一部 急性腹症「消化管穿孔」	16
こえ ・平成29年度フレッシャーズセミナー印象記	20
・フレッシャーズセミナーに参加して	21
・平成29年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に参加して	22
・中央区クリーンデーに参加して	23
・中央区クリーンデーに参加して	23
パイプライン ・超音波画像研究会 第251回定例会・第14回ワンバイツー講習会(腹部超音波実技講習会)	24
・第33回日本診療放射線技師学術大会	25
・第17回合同学術講演会	26
・超音波スクリーニング研修講演会2017五反田	27
平成29年度6月期会員動向	28
平成29年度第3・4回理事会報告	29
研修会等申込書	35

Column & Information

・イエローケーキ	28
・学術講演会・研修会等の開催予定	34

卷頭言



人工知能は人間を支配する？

副会長 白木 尚

暦のうえでは過ごしやすい季節へと移ってまいります。春にまいた種は元気に成長しましたか！

“実りの秋”“研修会等各種イベントの秋”と、本会にとりましては企画盛りだくさんの季節となりました。

会務が残り一ヶ月で後期へと進む中、前期を振り返り注目すべき2項目について報告します。まずは、6月18日(日)に開催された第68回定期総会において定款の改正を提案し、総会の「代議員制移行」が決議されました。このことは本会にとって大きな変革で、次回の総会からは運営を確実かつ効率的に開催できるよう準備を進めて参る所存です。また、同日に開催された第15回ペイシェントケア学術大会では「患者に寄り添う医療」をテーマに、それぞれの職種の方々から最も患者に接している部分を紹介していただきました。教育講演では、職種の壁を越え栄養サポートを実践する多職種の集団（チーム）である、NSTの活動について分かり易くご紹介いただきました。そして、特別講演では患者さんからの目線で、医療従事者に対して感じている思いを熱く語っていただきました。とても実りある大会となりました。

次に、6月24日(土)に長野市で開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会拡大役員会において、2019年の学術大会は東京で開催することが決議されました。早速企画会議を開催し準備を進めています。日程及び会場については平成31年6月29日(土)～30日(日)に、一橋大学一橋講堂において開催を予定しています。記憶に残る楽しい大会となるよう取り組んで参りますので、ご期待いただくとともにご支援ご協力をよろしくお願い致します。

さて、最近話題の「人工知能（AI）」技術は、ご存じの通り、さまざまな分野で応用されるようになりました。医療分野も例外ではなくAIを使ったX線画像診断のシステムが開発されています。私自身は、まだまだ勉強不足で恐縮ですが調べてみました。

“人工知能はこの先、画像診断にどのようなインパクトをもたらすのか。中田氏は米Mayo Clinicの放射線科医が最近示したという、次のような予測を引き合いに出す。今後5年内にマンモグラフィ（乳房X線撮影）や胸部X線撮影の診断に人工知能が使われるようになり、10年内には頭部や胸部のX線CT検査、頭部などのMRI検査、肝臓などの超音波検査の診断にも使われるようになる。そして15～20年内には、ほぼすべての画像診断領域で人工知能が使われるようになる——。ただしこれによって直ちに、画像診断医が人工知能に“置き換えられる”というのではない。”（日経デジタルヘルス：「慈恵医大放射線医学講座の中田典生氏が語る」より）

人工知能学会の松尾豊氏は、著書『人工知能は人間を超えるか』内において、人間に対して反乱を起こす可能性を否定しているが、人工知能の危険性について警鐘を鳴らしている著名人も多いという。スティーブン・ホーキング博士：「人工知能の発明は人類史上最大の出来事だった。だが同時に、『最後』の出来事になってしまう可能性もある」。イーロン・マスク：「AIは悪魔を呼び出すようなもの」。ビル・ゲイツ：「これは確かに不安を招く問題だ。よくコントロールできれば、ロボットは人間に幸福をもたらせる。しかし、数年後、ロボットの知能は充分に発展すれば、必ず人間の心配事になる」。

人工知能が発展して、完全に自分の意志で動くロボットが誕生して、ターミネーターのように人類がロボットに支配される時代が来なければよいのですが… 映画の見すぎでしょうか。医療分野では診療に安全で有効な技術となることを期待して注視していきたいと思います。

本会は「研修会等各種イベントの秋」ということで、9月から充実した多くの企画を準備しております。是非ともご参加いただきますようお待ちしています。今後とも本会は、「技師会はひとりのため（に役立ちたい）、ひとりは技師会のため（にご協力いただきたい）」という気持ちで進めて参ります。“勉強の秋”“食欲の秋”と一緒に謳歌しましょう。

会告 1

第16回 サマーセミナー テーマ「肺がんを理解する」

肺がんの死亡率は死因のトップであり、各方面で種々な取り組みが行われています。

われわれも基本に立ち返り、日常最も多く使用する胸部撮影、CT撮影を中心に解剖や病理、腫瘍マーク、そして最新の放射線治療の現状などを拝聴し、肺がんへの理解を深めたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00～15:20	解剖	東邦大学医療センター大橋病院	南山 諒輔
15:20～15:50	肺がんの画像診断と細胞診断	東京医科大学病院	三宅 真司
16:00～16:20	ブレイクタイム「BoneSuppression処理（肋骨減弱処理）の紹介」		
16:30～17:30	肺がんと画像（特徴的画像所見を中心に）		
	1. 胸部単純画像編	公立福生病院	野中 孝志
	2. CT編	日本大学医学部附属板橋病院	市川 篤志
17:30～18:00	肺がんと放射線治療	東京医科大学病院	小林 浩之

記

日 時：平成29年9月2日（土）15時00分～18時00分

会 場：東京医科大学病院 教育研究棟 3階第1講堂

ア クセス：JR新宿駅西口下車 徒歩約15分

都営大江戸線 都庁駅前駅下車 徒歩約7分

東京メトロ丸の内線 西新宿駅下車 徒歩約1分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

2

平成29年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成29年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者： 5,000円、静脈注腸受講者： 3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

第3回

日 時：平成29年9月16日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年9月17日（日）8時30分～17時30分
場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス
東京都世田谷区駒沢1-23-1
ア ク セス：田園都市線 駒沢大学駅より 徒歩約10分
募 集 人 数：100名

第4回

日 時：平成29年11月11日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成29年11月12日（日）8時30分～17時30分
場 所：三鷹産業プラザ 会議室
東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ
ア ク セス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より 徒歩約8分
募 集 人 数：100名

第5回

日 時：平成30年1月20日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年1月21日（日）8時30分～17時30分
場 所：首都大学東京 荒川キャンパス
東京都荒川区東尾久7-2-10
ア ク セス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅より 徒歩約3分
募 集 人 数：100名

第6回

日 時：平成30年3月3日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年3月4日（日）8時30分～17時30分
場 所：会場調整中
ア ク セス：未定
募 集 人 数：100名

以上

会 告

3

第71回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「明日から役立つ知識～Image-Jの基礎の基礎～」

講師：学校法人北里研究所北里大学メディカルセンター 今花 仁人 氏

今回はImage-Jを取り上げます。

学会発表などでは必須のツールとして用いられていますが、実際に使用する際に迷うこともしばしばあるかと思います。今回はこれから学会発表を行う方や、ちょっと苦手という方を対象に実践形式でじっくり行います。

※参加する方は、あらかじめExcel および Image-J（インストール）が使用できる状態にしてご参加をお願いします。

～内 容～

- ・ツールバーの説明と画像の表示・保存
- ・画像計測の基礎（ROIマネージャを用いた計測）
- ・実空間および周波数空間におけるフィルタ処理
- ・マクロによる処理解析の効率化

※実際の医用画像を用いて演習を行いながら講義を進めていく予定です。

記

日 時：平成29年9月16日（土）15時00分～17時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会告 4

第72回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「明日から役立つ知識～骨密度と骨質評価～」

講師：東洋メディック株式会社 野中 希一 氏

1980年代は、高齢になれば骨が脆くなるのは仕方がなく、骨密度を測定して何になるのかといった声が多く聞かれましたが、今では、社会的な背景もあり骨折予防のために骨密度測定装置が国内で広く使用されるようになりました。

はじめに、骨密度測定装置の歴史と原理を簡単に振り返った後に、骨折リスク評価・治療の経過観察・続発性骨粗鬆症の評価などの観点から異なる部位の骨密度にどのような差異があるかを示し、さらに同様の観点から“骨質”評価について概観します。

記

日 時：平成29年9月27日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

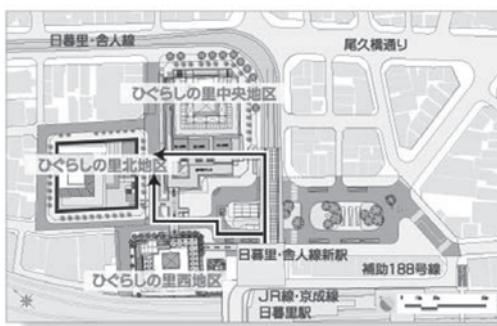
申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

5

第17回 公益社団法人東京都診療放射線技師会 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部 合同学術講演会

講演 I 【ミニレクチャー】

テーマ「最新の画像解析による画像診断支援への取り組み」

講 師：キヤノン株式会社 山道 淳太 氏

講演 II 【特別講演】

テーマ「人工知能を活かした放射線治療」

講 師：駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科 馬込 大貴 先生

大量のデータの非線形な関係をコンピュータに学習させる、人工知能や機械学習と呼ばれる分野の発展は目覚ましい。放射線医療の分野においても日々の診療において膨大なデータが蓄積されており、これらのデータを人工知能・機械学習技術に基づき解析することで、有効に活用できる可能性がある。本講演では、機械学習技術を用いて医療データベースを分析するいくつかの研究を紹介し、放射線治療後の予後予測の可能性について論じる。

記

日 時：平成29年9月30日（土）16時00分～18時00分

会 場：JR東京総合病院 病棟地下1階講堂 〒151-8528 渋谷区代々木二丁目1番3号

ア クセス：JR新宿駅 南口・甲州街道改札・新南改札より徒歩5分

JR代々木駅 北口より徒歩5分

都営大江戸線新宿駅 A1出口より徒歩1分

小田急線南新宿駅より徒歩5分

参 加 費：会員1,000円、非会員2,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成29年度診療放射線技師基礎技術講習

「一般撮影」

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」を開催致します。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に臨床技能検定を実施します。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成29年10月15日（日）9時00分～（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（ただし、検定試験料1,000円を含む）

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締切とします。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間（6時間）に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を越えたコマが1つでもあった場合

締め切り：平成29年10月1日（日）

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名/所属
	9:00～ 9:10	開講式・オリエンテーション	
1	9:10～ 9:55	撮影-1 胸部・ポータブル撮影	中西 章仁（杏林大学医学部付属病院）
2	9:55～10:40	撮影-2 頭頸部・甲状腺	市川 重司（公立福生病院）
3	10:55～11:25	撮影-3 歯科・顎骨・口腔	相澤 光博（東京歯科大学 水道橋病院）
4	11:25～12:25	撮影-4 脊椎・関節・上下肢・軟部	工藤 年男（春日都市立病院）
5	13:10～13:55	撮影-5 腹部・骨盤	江田 哲男（済生会中央病院）
6	13:55～14:40	撮影-6 腹部・生殖器（造影含む）	野中 孝志（公立福生病院）
7	14:55～15:40	診断用X線装置・画像処理装置	安部 真治（首都大学東京客員教授）
8	15:40～16:25	注意点および検像	野口 幸作（東京臨海病院）
	16:40～17:10	臨床技術能力検定	
	17:10～	閉講式	

会 告

7

第16回城北支部研修会

テーマ「医療現場における子どもとの関わり方について」

講師：博慈会記念総合病院小児センター 医療保育専門士 河野 拓二 氏

検査・処置・治療時や外来、入院生活の場面などで、泣いたり拒否したり逃げたりする子どもへの対応に苦慮したことはありませんか。今回は、小児対応の専門職である医療専任の保育士が、子どもへの上手なかかわり方のコツを伝授します！ 職種や施設を問わずにどんな人でもご参加いただけます。

子供たちに笑顔で検査を終えてもらえるように!! ビバ!! 勉強!!



記

日 時：平成29年10月27日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（当日参加も可能です）

情報交換会：近隣にて（当日ご案内致します）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail : shibu_jyouhoku@tart.jp

第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第61回きめこまかな生涯教育 テーマ「一般撮影画像処理」

講師：コニカミノルタジャパン株式会社

今回は一般撮影画像処理を特集します。
基礎的なことから一般的に使用している画像処理について解説を行います。
多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00～15:30	アナログからデジタル画像（何が違う）
15:30～16:00	デジタル画像処理の基礎
16:00～16:30	ブレイクタイム
16:30～18:00	各種画像処理（処理により画像はどう変化する）

記

- 日 時：平成29年10月28日（土）15時00分～18時00分（受付開始14時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：50名（定員になり次第締め切ります）
参 加 費：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）
申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与
問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

1

平成29年度 電離箱式サーベイメータ確認校正

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

このたび、電離箱式サーベイメータ確認校正^{注)}（線源：60Co, 137Cs）を実施致します。施設で保有するサーベイメータの確認校正をご希望される方は、この機会に是非ご参加ください。

注) 確認校正とは、サーベイメータの実用校正による校正定数が継続して使用可能かを判定する校正方法であり、校正定数を保障するものではありません。

本事業の開催は本年度をもちまして終了となりますこと、予めご了承ください。

記

日 時：平成29年11月19日（日）10時00分～16時00分（受付開始9時30分～）
場 所：駒澤大学 駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

ア ク セ ス：東急田園都市線「駒沢大学」駅（各駅停車をご利用ください）
※東急田園都市線は、地下鉄半蔵門線と直結しています。

定 員：約14名程度（先着順）

参 加 費：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

お申し込みの際は、通信欄に下記情報の入力が必要となりますので事前にお調べください。

①施設名 ②製造メーカー ③型式 ④製造番号 ⑤製造年月日 ⑥本事業への参加歴
詳細につきましては、参加申込後に担当者よりメールにてお知らせ致します。

申込期限：11月10日（金）

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 2

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひご活用ください。

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

トップページの
ここをクリック

お知らせ

地区紹介ページ

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

2014年度
研修会・イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART-S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかな生涯教...

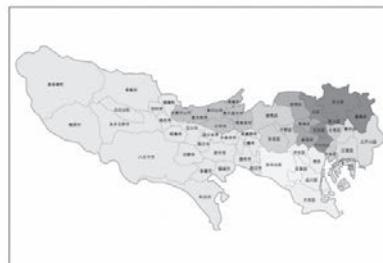
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	豊田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
	第5地区	港区	渋谷区
	第6地区	品川区	大田区
	第7地区	世田谷区	目黒区
	第8地区	世田谷区	神奈川方面地区
	第9地区	目黒区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	世田谷区	
	第10地区	練馬区	杉並区
城北支部	第4地区	文京区	北区
	第5地区	墨田区	荒川区
	第6地区	江東区	
	第7地区	葛飾区	
多摩支部	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域
	第12地区	西東京市	東久留米市
	第13地区	小平市	東村山市
	第14地区	武蔵村山市	東大和市
	第15地区	上記、第12地区以外の多摩地域	



第一部 急性腹症 消化管穿孔

公立福生病院 医療技術部 診療放射線技術科 野中 孝志

サマーセミナーやウィンターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載しています。第五回目は、消化管穿孔について解説致します。

1 消化管穿孔とは

消化管穿孔とは、何らかの原因で消化管の何処かに孔（あな）が空き、腸管の内容物が腹腔内に漏れ出てしまう事である。腹膜炎を引き起こすこともあり、緊急手術にもなり得る重篤な疾患の一つである。

発生場所は上部消化管（胃腸管系のうち、食道、胃および十二指腸の部分）もしくは下部消化管（胃腸管系のうち十二指腸より下の小腸および大腸）である。

原因としては、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃癌、大腸憩室炎、大腸癌、急性虫垂炎、潰瘍性大腸炎、クロhn病、外傷性が挙げられる。その中で、がんによる穿孔には胃癌・大腸癌の潰瘍底の穿孔もしくは大腸癌による閉塞性腸炎に伴う口側の穿孔であり、胃癌の穿孔は胃癌全体の3%以下、大腸癌の穿孔は大腸癌全体の2~7%位である。

2 上部消化管穿孔の病態・検査・治療

上部消化管穿孔は主だったものとして、穿孔性十二指腸潰瘍（若年者で典型だが、高齢者でもある）、穿孔性胃潰瘍（高齢者が多い）、胃癌の穿孔（中～高齢者）が挙げられる（図1）。

上部消化管穿孔の症状は、発症前の数日から1週間ほど前から空腹時の心窓部痛あるいは心窓部違和感があることが多い。また突然発症の断続的な上腹部の激痛がある。



図1

痛みの程度が強い事と持続するために自身で歩くことができず救急車にて来院する事が多く、恶心・嘔吐も伴うことがある。

上部消化管穿孔の身体的所見としては、板状硬の状態となることが多く、腹部全体に痛みを訴え、特に心窓部に強い圧痛がある。また反跳痛も腹部全体に認める。痛みの為に仰臥位になることができない。ベット上で座位をとっていることが多いなどがある。

上部消化管穿孔のなかでは圧倒的に十二指腸球部前壁の穿孔が多く、その殆どを占める（図2）。

上部消化管穿孔の鑑別疾患としては、急性膵炎、胆石発作、急性胃炎（アニサキスなど）がある。臨床所見で上部消化管穿孔を疑ったら、検査で最も有用な情報はフリーエアを証明することである（図3）。

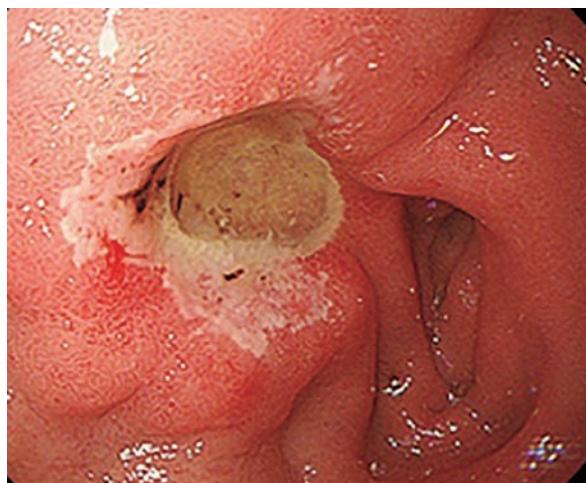


図2



図3

第一選択となるのは胸部単純X線写真もしくは腹部単純X線写真である。

X線管球の高さと距離の関係で、胸部単純X線の方が横隔膜下遊離ガスを描出しやすい（図4・図5）。1ccのエアがあれば、立位を5分以上持続させた後の胸部正面X線でフリーエア指摘できるといわれているが、実際に指摘できないこともある。その原因としては、立位になれない（立位を保持することができない）エアの漏出があつても周囲の臓器の間に囲まれ、横隔膜下に十分な量のエアがない、などがある。また左側臥位正面像（デクビタス像）が有用とも言われているが、遊

離ガスが腹壁と肝表面の間に移動するのに左側臥位で数分以上待つ必要がある。体位保持が難しいなどの欠点がある（図6）。

腹部CTではフリーエアの検出率は高いとされているが、CTでフリーエアが見つからないからといって穿孔がないとは言い切れない。CTを行う意義はフリーエアを見つけるというよりは、消化管穿孔以外の所見を見つけ出すことにあるといえる（図7・図8）。

上部消化管穿孔の治療には、原則的には外科的治療（腹腔鏡下大網充填術）であるが、下部消化管とは違い、適応によっては保存的な治療とい

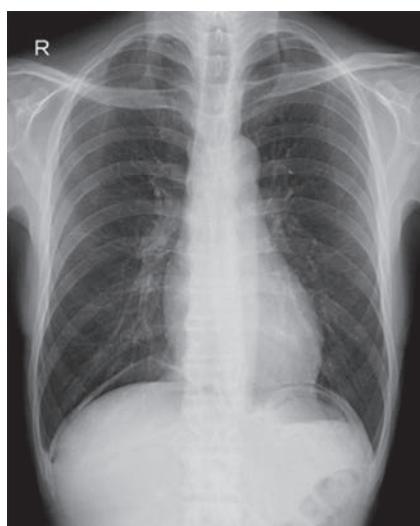


図4



図5

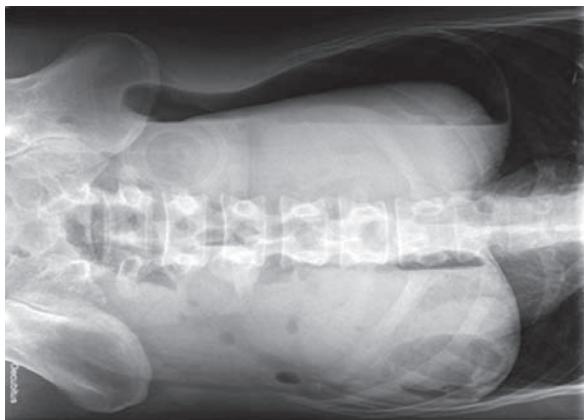


図6

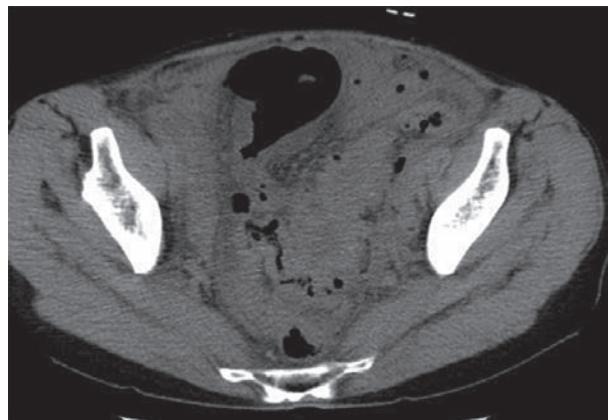


図7

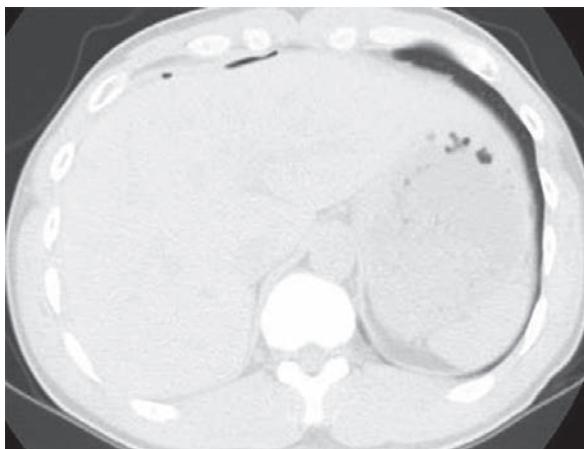


図8

選択肢もある。ただし、胃穿孔の場合は胃切除術となることが多い。

下部消化管穿孔の多くは、生命の危機に直結する重篤なもので、高齢者が多く、何かしらの基礎疾患があることが多い。

下部消化管穿孔の主な症状としては、一般的には突然発症の断続的な腹痛として出現。

虫垂炎や腸閉塞のような間欠痛は呈さないことが特徴で一般的に時間経過による症状の改善は少ない。多くの場合は時間とともに症状が増悪し、場合によっては意識障害や呼吸不全、ショックといった敗血症の症状が主訴にて来院することもある。上部消化管穿孔に比べると下部消化管穿孔は原因が多彩である。

検査としては単純X線でフリーエアを証明できればよいが、重傷なことが多く、立位保持が困難なことが多い。

身体的所見は腹部全体に圧痛と反跳痛を認め、圧痛を離れた部位でもはっきりとした所見があ

3 下部消化管穿孔の病態・検査・治療

続いて、下部消化管穿孔であるが、主に小腸穿孔と大腸穿孔がある。小腸穿孔の原因としては消化性潰瘍、薬剤性潰瘍、腫瘍性（GIST、Neurofibromaなど）、異物、外傷、小腸憩室があり、大腸穿孔としては、腫瘍性（腫瘍部が穿孔する場合と、大腸閉塞で盲腸が穿孔する場合）、宿便性穿孔（Stercoraceous perforation）、憩室穿孔、医原性（大腸内視鏡によるものが多い）、異物（魚骨による穿孔は頸部食道の他はS状結腸に多い）がある（図9）。



図9



図10

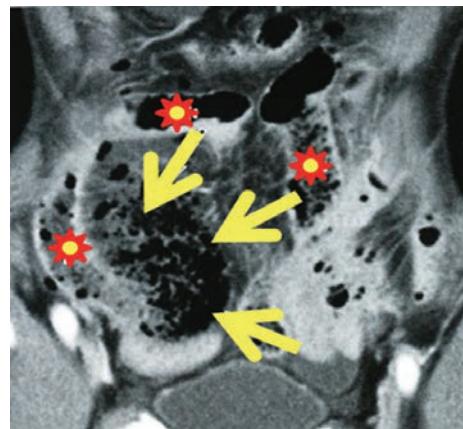


図11

り、自発痛よりも圧痛よりも 反跳痛がもっとも強い。

筋性防御は上部消化管穿孔のような板状硬ではなく風船をふくらませたような硬さであり弾力を感じることが多い。

腹部CTは疾患特定にはもっとも有用な検査である。腹腔内にガスや腹水が出ない場合(S状結腸の宿便穿孔あるいは憩室穿孔に多い)には腹部単純X線や超音波では指摘しがたくCTが適している。ただし、すでに所見が十分で手術をすることが決定的な症例で腎機能低下を認める場合は腎不全のリスクを背負って造影CTを撮影する意義は全くないとされている(図10)。下部消化管穿孔のCT所見の特徴的なものとして、内部に空気の泡を伴い腸管壁に囲まれない低吸収域部の存在がある。これはDirty Mass Signと呼ばれ、腹腔

内に漏出した便塊と思われる異常陰影のことである(図11)。

基本的に治療は外科的な手術となる。汎発性腹膜炎を起こし、外科的手術を施行し、その結果、下部消化管穿孔と診断されることもある。いずれにせよ治療が遅れると腹膜炎から敗血症、肺炎、血圧低下、意識障害、ショックなど致命的になる可能性があるので迅速な検査・治療が必要である。

参考文献

- ・すぐに役立つ救急のCT・MRI 編著/井田正博・高木亮・藤田安彦 秀潤社
- ・正常画像と並べてわかる救急画像 編/清田和也・清水敬樹 羊土社
- ・腹部のCT第2版 監修/平松京一 編集/栗林幸夫・谷本伸弘・陣崎雅弘

平成29年度フレッシャーズセミナー印象記

JR東日本健康推進センター 須田真帆

診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」では、多くのことを学ばせていただきました。診療放射線技師として働き始めて、慣れてきてしまっている部分をもう一度、見直せる機会だと思い参加を決めました。

1日を通して印象に残ったのは、医療安全やエチケットについての講座と気管支解剖の講座です。働き始めたときは、誰に対しても緊張してしまい“丁寧”に、“失礼の無いように”と接遇を行っていました。ですが、日が経つにつれその気持ちは“急がなければ”や“きれいな画像を撮影しなければ”と自分のためのものになっていました。今回の講座を受けて、医療はサービス業であり、受ける側のためにあるのだと再確認しました。今後も丁寧な心がけを

忘れずに業務に努めたいと思います。また、午後に受けた気管支解剖の講座では、体で気管支の解剖を覚える「気管支体操」を教えていただきました。食後で眠くなる時間に体を動かすことでの無事に一睡もすることなく受講することができ、そしてその場で今までよくわからなかった肺の区域も理解が深まりました。

フレッシャーズセミナーに参加した最大の理由は、無料だったからです。新人のお財布に優しく、内容も放射線技師としてさらにワンステップ成長できるものでした。このような機会を与えてくださった、東京都診療放射線技師会の皆さんに厚く感謝します。



こえ

フレッシャーズセミナーに参加して

東京大学医学部附属病院 岩崎貴大

この度、「平成29年度診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー」へと参加させて頂きました。テーマは、午前の部でエチケット・医療安全対策・感染対策・被ばく低減、午後の部で胸部撮影・気管支・CTに関する基礎的臨床講義となっていました。経験の浅い私には非常に濃い内容であり、充実した一日を送ることができました。

私は、診療放射線技師として2ヶ月半の経験しかなく、不安が先行し、周りに気を配ることができていません。それゆえ、患者様に介助の甘さや説明不足などを指摘されたことがあります。また、マナー やリスクマネジメント、感染対策、そして撮影に関しても、患者様が退出した後に反省することがたくさんあります。今回の講義では、普段できなかつたことや気づいていなかつたことを理解する良いきっかけとなりました。患者様の心理や状態を把握し、ひとりひとりに丁寧な撮影を心がけて、今後の成長

に活かしたいと感じました。また、午後からの臨床講義では、基礎解剖から臨床所見と様々な内容を学びました。自分が臨床の場で働くようになって受けたる講義は、新しく気づくことも多く、またひとつ勉強になりました。特に、“正常な画像をしっかりと理解することで、異常を疑う力をつける”ことは、私たち技師にも必要な能力であり、しっかり勉強していきたいと感じました。全体の講義を通して、まだまだ知らないことがたくさんあり、時間が過ぎるのがあっという間でした。

今回のセミナーを終えて、診療放射線技師として働く上で必要なことをたくさん学びました。今後も自分が成長していくための原点として、今回の講義を忘れずに実践していきたいです。最後に、本セミナーにて講義をして頂いた方々に、本当に感謝しています。



平成29年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に参加して

さやま総合クリニック 伊藤佳奈恵

平成29年5月28日に開催された、新人放射線技師を対象とした「フレッシャーズセミナー」に参加させていただきました。私は4月から技師として働きだし、少し仕事にも慣れてきたころ、新人診療放射線技師を対象としたセミナーがあることを知り、この機会に病院外で基礎知識を身に付けたいという思いから参加に至りました。

今回のセミナーの内容は、午前中に医療人として医療機関で働くうえで必要なエチケットマナー、医療安全、感染対策、被ばく低減の講義でした。これらは実際に入職してから約2か月間の間にも関わってきた内容であり、今まで疑問に思っていた点や、新たに発見し今後の業務で生かしていきたいと思っ

たことが学べたと同時に、医療人としての働き方はもちろん、社会人としての働き方の基礎を学ぶことができました。

午後の講義はさらに専門的な胸部撮影、気管支解剖、CT装置の基礎についてでした。主に基礎的な内容でとても分かりやすく、特に疾患についてはここだけは見逃してほしくない、という点などを学ぶことができました。

今回の講義で得たものを、今後の業務で生かしていきたいと思います。ご講演いただいた講師の方々、また、このような機会を設けてくださいました、スタッフの方々ありがとうございました。



こえ

「中央区クリーンデー」に参加して

浅草病院 藤井脩平

昨年度に続き「東京放射線」のお知らせを確認したところ、清掃活動を見つけ、地域活動に参加できるということもあり参加させていただきました。

歩道などは目立つゴミもなく一見きれいに見えましたが、花壇の中など見えにくい場所や、バスの待ち時間などで常習的にごみを捨てていることが考えられる場所にはゴミが目立ちました。そのため、日ごろから清潔を保ち、ごみを捨てさせない環境をつくることが大切なではないだろうかと感じました。

今回の清掃活動に参加して、ゴミが捨てられやすい場所を考えながら清掃することにより、一層きれいにすることができたのではないかと感じます。また、予測判断するということは業務においてもとても大切なことだと考えます。このような身近なことからも、予測判断する力を身につけることができるのではないかと感じました。環境美化の高まるとても良い経験ができ、そして他の病院や地域住民の方々と交流を深めることができ、良かったです。

中央区クリーンデーに参加して

永寿総合病院 永峯侑菜

先日、中央区のクリーンデーの清掃活動に初めて参加させていただきました。

歩道には目立った大きなごみはあまりなく、きれいに感じましたが、自動販売機周辺や植え込みの周りにあった、煙草のポイ捨てが多い印象を受けました。「他の人も捨てているからいいや」ではなく、一人ひとりがエチケットとしてポケット灰皿を持つことで、このようなことは減るのではないかと感じました。

今回の清掃活動に参加することで、環境美化につ

いて考える良いきっかけになりました。また、普段の業務でも一人ひとりが小さなことでも意識して、行動することはとても大切だとあらためて感じました。挨拶などの接遇においても意識することで、患者さんとのコミュニケーションが生まれて、患者誤認などのヒューマンエラーをより少なくできるのではないかと思いました。

今後もこのような機会があればまた参加したいです。





超音波画像研究会 定例会・講習会

第251回定例会

日 時：平成29年9月6日（水）19時00分～（受付開始18時30分より）

会 場：東京都診療放射線技師会 研修センター
(東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505)

テー マ：『乳腺腫瘍の捉え方と考え方』

講 師：成田赤十字病院 生理検査課 吉田 有紀 先生

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1,000円/新入会3,000円(入会金含む)/学生無料

定例会問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄

Tel : 03-3691-1879 ※16時30分～18時00分

第14回ワンバイツー講習会 (腹部超音波実技講習会)

日 時：平成29年11月12日（日）8時45分～17時00分（予定）

会 場：中央医療技術専門学校（東京都葛飾区立石3-5-12）

定 員：12名（定員となり次第受付を終了致します。）

参 加 費：会 員 20,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済である会員）
準会員 25,000円（ホームページ上での入会者、入会金、昼食含む）
非会員 25,000円（入会金、昼食含む）

申し込み：E-mail Uskenkyukai@aol.com 担当 安納

講習会問合せ先：公益財団法人武藏野健康づくり事業団 放射線 安納

Tel : 0422-51-2828 ※16時00分～17時00分（土、日、祝日を除く）

定例会、講習会の詳細は超音波画像研究会 ホームページまで

超音波画像研究会 事務局 E-mail us.image.workshop@gmail.com

Pipe line

パイプライン

第33回



日本診療放射線技師 学術大会

The 33rd Japan Conference of
Radiological Technologists (JCRT)

第24回東アジア学術交流大会 The 24th East Asia Conference of
Radiological Technologists (EACRT)

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

未来への開港 一技の継承と飛躍—

Open a Port to the Future: The Succession and Progress of Techniques



会期
Date

2017年9月22日(金)～24日(日) September 22nd(Fri)-24th(Sun), 2017

会場
Venue

函館市民会館・函館アリーナ Hakodate civic hall / Hakodate arena

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (The Japan Association of Radiological Technologists)

大會長
Chairman

板東 道夫 (一般社団法人 北海道放射線技師会 会長)
Michio Bando (The Hokkaido Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人 日本診療放射線技師会
The Japan Association of Radiological Technologists

共催
Cosponsor

一般社団法人 北海道放射線技師会
The Hokkaido Association of Radiological Technologists

運営事務局
Secretariat

株式会社コンベンションワークス 〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17 TEL:011-827-7799 FAX:011-827-7769 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp
Convention Works Corporation 1-17, 3-chome, Kikusui 9-jo, Shiroishi-ku, Sapporo, 003-0809 E-mail:jcrt33@c-work.co.jp

<http://c-work.co.jp/jcrt33/>



第17回合同学術講演会

(公社)日本放射線技術学会東京支部
(公社)東京都診療放射線技師会

《ミニレクチャー》
『最新の画像解析による画像診断支援への取り組み』
講師 キヤノン株式会社 山道 淳太 氏

特別講演

『人工知能を活かした放射線治療』
講師 駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科
馬込 大貴 先生

大量のデータの非線形な関係をコンピュータに学習させる、人工知能や機械学習と呼ばれる分野の発展は目覚ましい。放射線医療の分野においても日々の診療において膨大なデータが蓄積されており、これらのデータを人工知能・機械学習技術に基づき解析することで、有効に活用できる可能性がある。本講演では、機械学習技術を用いて医療データベースを分析するいくつかの研究を紹介し、放射線治療後の予後予測の可能性について論じる。

日時：平成29年9月30日(土)16:00～18:00

会 場：JR東京総合病院 病棟地下1階講堂
〒151-8528 渋谷区代々木二丁目1番3号

アクセス： JR新宿駅南口・甲州街道改札・新南改札より徒歩5分
JR代々木駅(北口)より徒歩5分
都営大江戸線新宿駅(A1出口)より徒歩1分
小田急線南新宿駅より徒歩5分

参 加 費：会員1,000円、非会員2,000円
一般・新卒かつ新入会員ならびに学生 無料



会場アクセスMAP

～問い合わせ～

公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所
Tel.03-5804-2301 e-mail : tokyoubukai-adm@umin.ac.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所
Tel.03-3806-7724 e-mail : gakujitu@tart.jp

超音波スクリーニング研修講演会2017五反田

■会期：平成29年12月16日（土）午前9時55分～午後5時

※開場・受付開始：午前9時から

■会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）

※JR山手線『五反田』西口より徒歩10分

<http://messe.toc.co.jp/access/>

■参加費：5,000円 事前登録不要

■主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共催：日本総合健診医学学会／日本消化器がん検診学会

■後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会

日本臨床衛生検査技師会／日本診療放射線技師会／東京都臨床検査技師会

東京都診療放射線技師会／神奈川県臨床検査技師会／神奈川県放射線技師会

プログラム

テーマ：超音波所見を極める

時間	第一会場	第二会場
9:55	開会の辞 理事長 桑島 章	
10:00 ～ 10:45	■胆道 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：鳥海 修（関東中央病院）	
11:00 ～ 11:45	■腎臓 講師：関口隆三（東邦大学医療センター大橋病院） 司会：岩下和広（飯田市立病院）	ライブセミナー『肝臓』 講師：若杉 聰（千葉西総合病院） 司会：岩田好隆（東京女子医大東医療センター）
12:15 ～ 13:00	■ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） 司会：桑島 章（PL 東京健康管理センター）	
13:15 ～ 14:00	■所見のとり方 講師：関根智紀（総合病院 国保旭中央病院） 司会：永井 悟（湘南藤沢徳洲会病院）	
14:15 ～ 15:00	■乳腺 講師：何森亜由美（高松平和病院） 司会：高田悦雄（那須赤十字病院）	ライブセミナー『胆道・脾臓』 講師：岡庭信司（飯田市立病院） 司会：谷田部真由美
15:15 ～ 16:00	■肝臓 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） 司会：矢島晴美（東京都予防医学協会）	
16:15 ～ 17:00	■脾臓 講師：小川眞広（日本大学病院） 司会：伊藤正範（新宿健診プラザ）	
17:00	閉会の辞 副理事長 岡庭信司	

※超音波検査士更新5点が付与されます。

※ランチョンセミナー 昼食（1000食限定）を用意しています。

※超音波関連書籍の展示販売を行います。



■問い合わせ先：超音波スクリーニングネットワーク

E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp

ホームページ：<http://us-screening.kenkyuukai.jp/>

研修講演会ご案内QRコード

会員動向

平成29年度6月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年度末集計	2,077	205	22	16	174
平成29年4月	2,101	31	3	3	7
平成29年5月	2,116	18	3	2	4
平成29年6月	2,142	29	1	1	3

イエローーケーキ

衝動買い

2年前の9月、熱帯魚の水槽の中にアクセントが欲しいと思い、カメを買いにペットショップに行ったのだが5000円もするので諦めて、犬コーナーをブラブラ見に行くと私の大好きな犬「ビションフリーゼ」がいた。写真やテレビなどでは見たことがあり、なんて面白い犬なのだと思っていたが実物を見るのは初めてだった。抱かせてもらうと、白くモフモフとした体を丸め私の膝の上でくつろぎ、なんとかわいいのだと心を奪われそうになる私にペットショップの店員さんがトドメの一言「人が犬を選ぶだけじゃなく、犬も人を選ぶのですよ」、その日から私とその犬との暮らしは始まった。ビションフリーゼという犬は純白の毛であり、更にその毛が立つので非常にモコモコとしたカットができるのが特徴なのだが、それ故に毛の手入れが大変だ。散歩に行けば足がすぐ汚れてしまい、ブラッシングをサボるとすぐ毛玉ができてしまう。3週に一度はトリミング店に行かないとモップみたいな小汚い犬と化す。世話も大変だが出費もでかい。これはカメを買っておいた方が良かったのかもしれないと思うこともあるが、大変さも含め犬ちゃんとの暮らしは楽しい。もうすぐ犬ちゃんが我が家に来て2年だ、お祝いをしなければ!!

犬の名はまりも

News

9月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：2名

会長挨拶

6月は日本診療放射線技師会（JART）創立70周年記念式典、JART第78回定期総会、本会ペイシェントケア学術大会と第68回定期総会、関東甲信越診療放射線技師学術大会がある。それぞれのイベントの協力をお願いしたい。

今回の本会総会は、定款改正もあるため書面評決票回収の協力をお願いしたい。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木副会長

・2019年の関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催に向けて実行委員長として準備を進めている。現在の進捗として、日程と会場について報告する。平成31年6月29日（土）、30日（日）に一橋講堂で開催を予定している。詳細は今後検討し、順次理事会で報告する予定である。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

日 時：平成29年6月1日（木）
午後6時45分～午後7時30分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、市川重司、鈴木雄一、安宅里美、高野修彰、関 真一、浅沼雅康、長谷川雅一、齊藤謙一、竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、崎浜秀幸、原子 満、工藤年男
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、渡辺靖志（SR推進委員長）、斎藤誠治（厚生調査委員）、新川翔太（第5地区会員）
欠席理事：野口幸作、江田哲男
議 長：篠原健一（会長）
司 会：石田秀樹（副会長）
議事録作成：鈴木雄一

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①第69回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識（四肢CT）

日 時：平成29年8月24日（木）/25日（金）19時00分

～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

②第70回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識（四肢MRI）

日 時：平成29年8月29日（火）/30日（水）19時00分～

20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

③第16回サマーセミナー

テーマ：肺がんを理解する

日 時：平成29年9月2日（土）15時00分～18時00分

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟 3階第1講堂

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

④第71回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識（Image-J）

日 時：平成29年9月16日（土）15時00分～17時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑤第72回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識（骨密度と骨質評価）

日 時：平成29年9月27日（水）19時00分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑥第17回合同学術講演会

テーマ：人工知能関連

日 時：平成29年9月30日（土）16時00分～18時00分

場 所：JR東京総合病院

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑦平成29年度城南支部研修会

テーマ：それって本当に認知症？

日 時：平成29年10月14日（土）15時00分～16時30分

場所：東芝病院 2号館講堂

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑧第16回城北支部研修会

テーマ：医療現場における子どもとの関わり方について

日 時：平成29年10月27日（金）19時00分～20時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

2) 委員新任変更退任申請について

・総務委員

新任 新川 翔太（所属：東京大学医学部附属病院）

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

5月：新入会 18名、転入3名、転出2名、退会4名

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

今回は質問、意見はなかった。

連絡事項

鈴木総務委員長：地区委員名簿の最新版を資料に載せている。確認をお願いしたい。SR推進委員の災害対策委員会のシートを追加してある。間違いや変更があれば連絡をお願いしたい。

安宅情報委員長：6月8日（木）に第66回日暮里塾ワンコインセミナーが開催される。参加よろしくお願いする。

齊藤厚生調査委員（江田厚生調査委員長代理）：ボーリング大会が7月15日（土）に高田馬場のシチズンボウルで開催される。15時30分開始、受付は14時30分から行う。

JARTからメールでも送られているが、アンケート調査の依頼が6月30日までに延長されたので協力をお願いする。加えて、依頼した施設名、調査済みなのか、提出済みなのかなど分かるようにファイルに記載し、送付願いたい。

市川学術教育委員長：ペイシェントケア学術大会を今月の6月18日に東医健保会館で行う。当日は例年より一時間早い開催となる。

フレッシャーズセミナーを先週の5月28日（日）に行い、参加の方に東放技発行の用語集を配布した。

その他

第4地区竹安委員長：定款改正の内容で質問がある。代議員及び予備代議員選出規程の第4条「代議員等に立候補する者は、地区委員長に申し出を行い、立候補届に記載し、期日までに選挙管理委員会に届けなければならない。」とあるが、地区委員長に申し出というのはどういうことかを教えていただきたい。

篠原会長：日本放射線技師会の場合であれば、地区責任者は私になる。私を通して代議員に立候補を申し出でいただいている。東京都の場合は地区委員長になる。各地区で、立候補者の把握と調整を可能な範囲でお願いするため、そのようになっている。

第9地区市川委員長：今回書面評決ハガキに議長一任がなかったので、委任個人名を書く方がいた。委任者が参加しているかを確認するのが苦労しそうだが、なぜ議長一任がないのか。

白木副会長：本来、議長は議決権がないので、議長一任はできない。総会に出席する会員に委任しなければならない。委任者の記載のないわゆる白紙委任状の場

合は、委任状取得者が受任者として記名することができる所以問題ない。

白木副会長：5月25日の専門部委員会の日に6月3日開催のJART総会の東京都代議員大会を開催した。第1号・第2号・第3号議案について、質問意見の有無を確認し、東京都の代議員としては、全議案に対して賛成ということで意見が一致した。その他、特に意見はなかった。

第4地区竹安委員長：地区会員が新入会手続きを4月に

行ったが、まだ入会リストに上がってこない理由を教えていただきたい。

石田副会長：担当に調査依頼する。

今後の予定について

鈴木総務委員長：6月18日曜日に東京都診療放射線技師会定期総会が開催される。書面評決の現状の数は分かり次第連絡する。まだまだ回収していただきたいので、皆さまのご協力を宜しくお願いしたい。

以上

JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。
医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00 ~ 17:30
土曜日 9:00 ~ 13:00
(日曜日・祝祭日休み)

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ
フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL: 03-3869-5801
URL: <http://www.jmb88.co.jp> FAX: 03-3869-5802 E-mail: info@jmb88.co.jp
一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

News

9月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名（※議事採決後に1名出席）、欠席：2名

会長挨拶

6月の日本診療放射線技師会（JART）創立70周年記念式典、関東甲信越診療放射線技師学術大会および第68回定期総会は、皆さまのご協力で滞りなく終了した。JART創立70周年記念式典では、葛西監事が厚生労働大臣表彰を受賞された。また、今週末にJARTの第3回理事会が行われる予定であり、そこで小人数の職場の方が統一講習会などさまざまな事業に参加しやすいような環境作りと、定年退職者に対するJART年会費減免を提案する。さらに7月は統一講習会とボウリング大会、8月下旬には初めての試みで、同一テーマ2日連続でのワンコインセミナーが2回予定されている。また秋に向けて準備を進めていきたい。

報告事項

1) 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

日 時：平成29年7月6日（木）

午後6時45分～午後7時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、野口幸作、
市川重司、長谷川雅一、鈴木雄一、安宅里美、
竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、
崎浜秀幸、原子 満、工藤年男、高野修彰、
関 真一、浅沼雅康

出席監事：葛西一隆

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田修（第8地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鈴木 晋（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：江田哲男、齊藤謙一

議 長：篠原健一（会長）

司 会：白木 尚（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

白木副会長：2019年の関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催に向けて実行委員長として準備を進めており、6月24日に開催された関東甲信越拡大会議において東京開催が正式に承認された。進捗状況として、6月15日に会場を視察し、21日にキックオフミーティングを開催した。直近では学会サポート会社の選定、テーマおよび特別講演の講師を決める必要があり、講師に関しては推薦者があれば提案してほしい。開催に向けて皆さまのご協力をお願いしたい。

議 事

1) 超音波スクリーニングネットワーク後援依頼

テーマ：超音波所見を極める

日 時：平成29年12月16日（土）9時55分～17時00分

場 所：TOC五反田メッセ

上記の後援依頼について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

2) 新入退会について

6月：新入会 29名、転入1名、転出1名、退会3名
上記について審議した。

【承認：17名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第12地区：鈴木委員長

20年表彰のために総会に参加した会員より「表彰とは、名前をズラズラ読み上げるだけなのか？ちょっとがっかりした」との意見あり。せめて、会場に来てくれた方は、名前の読み上げのときに起立して礼をしてもらう、もしくは壇上に並んでもらうのはいかがか。日放技の学術大会時の30年表彰は、立って礼をしている。

今回は、3名しか会場に来ていなかった。来てくれた方をもっと讃えたい。

高野涉外委員長：

せっかく来ていただいたのに、不快な思いをさせてしまい申し訳なく思う。以前は読み上げに起立をしていただいたが、今回は不参加の方が多く起立を省略させていただいた。今回のご意見を受け止め、来年以降の表彰を考え直していく。

第11地区：千葉委員長

他の地区委員の小野賞受賞者からも同じような意見があった。以前は小野賞受賞者の席が用意されていたが、今回はそれがなかったので少し寂しい思いをしたという意見があった。

高野涉外委員長：

小野賞も20年表彰の差をつけたくないこと、20年表彰の参加が少ないこともあり、このような形をとらせていただいた。このことに対して不快な思いをさせてしまったことに対して申し訳なく思う。

篠原会長：

定款改正により今後は表彰の場が変更されることも含め、受賞者の出席の推進や表彰の方法について検討していく。

連絡事項

学術教育委員会：市川委員長

今後8月下旬から9月にかけて6事業を行う予定であり、参加をお願いしたい。また、ペイシエントケア学術大会の今後の方針に関して、学術教育委員会の意見も踏まえてメールを送信するのでご意見をいただきたい。各地区委員会で検討していただきても構わない。

その他

総務委員会：鈴木委員長

7月15日（土）に行われるボウリング大会に関して、出席者およびチーム編成のリストを提出していない地区があるので、早急に江田理事に送るようお願いしたい。

第14地区：宮谷委員長

第14地区のつどいを8月5日（土）16時00分から開催するので、参加をお願いしたい。案内はメールで送付する。申し込みたい方は、私が地区委員宛にメールを送っていただきたい。

第4地区：竹安委員長

8月18日（金）に「いまさら聞けない 造影剤、その効果とは！」をテーマとして第4地区研修会を開催する。新人から熟練の方まで奮っての参加をお願いしたい。

第2地区：関谷委員長

7月21日（金）19時00分～20時30分に東京都診療放射線技師会研修センターにおいて城東支部研修会を開催する。参加をお願いしたい。

篠原会長：

9月に第33回日本診療放射線技師学術大会が開催されるが、事前参加登録人数がまだ少ない状況である。ぜひ宜しくお願いしたい。

今後の予定について

総務委員会：鈴木委員長

秋に中間監査が控えているため、委員会報告や事業報告を提出していただく必要がある。研修会や地区委員会が終了したら速やかな報告書の提出をお願いしたい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成29年度

1. 学術研修会

☆第16回サマーセミナー 平成29年9月2日(土)

第20回メディカルマネジメント研修会 平成29年11月

☆第16回ウインターセミナー 平成30年1月

2. 生涯教育

第61回きめこまかな生涯教育 平成29年10月

第62回きめこまかな生涯教育 平成30年2月

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第71回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年9月16日(土)

第72回日暮里塾ワンコインセミナー 平成29年9月27日(水)

☆4. 第17回東放技・東京部会合同学術講演会 平成29年9月30日(土)

5. 集中講習会

第10回MRI集中講習会 平成30年2月

☆6. 支部研修会

城南支部研修会 平成29年10月14日(土)

城北支部研修会 平成29年10月27日(金)

城西・多摩支部研修会

7. 特別委員会研修会

電離箱式サーベイメータ確認校正 平成29年11月19日(日)

SR推進委員会研修会 平成30年3月

8. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

平成29年度第3回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年9月16日(土)~17日(日)

第33回日本診療放射線技師学術大会 平成29年9月22日(金)~24日(日)

平成29年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」 平成29年10月15日(日)

平成29年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 平成29年11月11日(土)~12日(日)

平成29年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年1月20日(土)~21日(日)

平成29年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年3月3日(土)~4日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

雨の多かった今年の夏。子どものころの夏は毎年、父の実家近くの海に遊びに連れて行ってもらったものでした。海と空と真っ白い入道雲。絵にかいたような夏休み。学校の宿題に「夏休みの友」という課題用冊子がありましたが、お前なんか友じゃないよ!というツッコミを毎年していたのを思い出します。そういえば、今年は夏らしいことを何もしなかったな…と振り返りつつ、空を見るとすっかり高くなつていて季節は秋です。皆さんはきっと楽しい夏季休暇を過ごされたのではないでしょうか。

秋といえば落ち葉です。春の桜の花びらの絨毯は華やかですが、秋の落ち葉もなかなか風情があって良いですね。落ち葉を踏みしめるときの乾いた音にも秋を感じます。桜、落ち葉とも季節のうつろいを強く感じるところにきっと惹きつけられるのだと思います。

この季節にいつも心に浮かんでくるのが「落葉帰根」という言葉です。春に芽吹き、夏に青々と成長した葉も、秋には色づいて冬には落ちて根に帰っていく。どんなに背の高い樹の葉でも、いずれは地に落ちて根に帰ること。人は最後には故郷へ帰るものであるということ、と辞書にあります。私はこの

言葉のそのままの意味のほうが好きです。葉は落ち、根に帰る。みんなきらきらと輝く新緑のころがあったはずであり、それは豊かな大地があったから。そして、いずれは自分も大地に帰って次の世代の木を育てる。小学校の国語の教科書に載っていた河合醉翁の「ゆずり葉」の詩に重なるところがあります。

編集委員会はこのところ、若い世代の勢いが出てきました。ほちほち「Old soldiers never die, but fade away.」かな、と思う今日この頃です。しかし、編集会議の熱い議論を見ていると、東京オリンピックを編集メンバーとして見てみたい気もします。…秋の空ですね。

<chai姉>



東京放射線 第64巻 第8号

平成29年8月25日 印刷(毎月1回1日発行)

平成29年9月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃